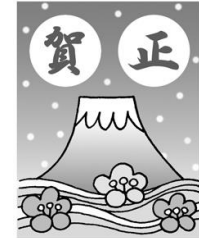


婦人会だより

No.173

H27.1.16



あけまして

おめいびつてんげんごきよ

大代婦人会長 佐藤京子

新年あけましておめでとようございませす。

東京高山会の皆様、関西高山会の皆様、大代町の皆様に支えられまして無事に一年を終えることが出来ました。ありがとうございます。

昨年特に印象に残りましたのは文化祭の行事でした。本会役員の前年の反省を踏まえた事前の話し合いに始まり、バザー券の作成と販売、材料の算段と注文、うどんの担当者による試食、道具の調達、大代小の掃除、まちづくりセンターから大代小へのかしわ飯の配送の手順、バザー会場のセッティング、体育館での野菜の品評会、支部手作り

の販売品、一つ一つの確認と全員の認識の共有と、文化祭との協調。

文化祭当日は朝三時からまちづくりセンターでの準備に始まり夕方の五時に解散。「毎年一つ年をとるのに昨年より早くすることが出来た。」との当日の反省会のことば。

そして十二月七日、支部長会後の忘年会では食事をして歌に始まり、紙芝居、玉入れ競争、ビンゴゲーム、車ポッポで一年を締めくくることが出来ました。

本年も一人では出来ないこともみんなで作れば楽しい気持ちで支えあいながら始めたいと思います。本年も何卒宜しくお願い申し上げます。

よろしくお願い致します

婦人会副会長 渡利マサコ



新年明けましておめでとようございませす。皆様には、すこやかなお正月をお迎えのこととお喜びいたします。

去年は自然災害が多く心配しておりましたが、幸い大代町はこれといって災害や台風も来ることなく一年が過ぎ

た事、なによりでした。

遅れましたが、会長さんの再度々のすすめで大役を受ける事になりました。微力ながらお手伝いさせていただきます。

大代の行事はほとんど婦人会がかかわっています。行事の多いなか高齢化も進み大変だと思えますが、それほど経験豊かな方が多いのではと思っております。これからもご指導をお願いいたします。

皆様と共に活動を楽しんでいきたいと思えます。本年も皆様にとって素晴らしい年になりますよう心からお祈り申し上げます。

私の近況報告 ①

八反田支部 森ツタエ



山々の木々も紅葉して、美しい風景を目にして、日々を過ごしております。月日の流れも、本当に早く感じられて今年も後二ヶ月弱となり、先へ先へと追いかけるようです。

でも今の私は、少しの病の主人と一日でも長く一緒に過ごせる事を、日々

願っております。私達二人の今の健康法は、なるべく身体を動かして、家のまわりの草刈り、少しの野菜作り花作りそして、出かけられる所へは、連れて行ってくれて、お互いに気使いながら過ごしております。

婦人会員として月日は長く重ねましたけど、これからも出来る事は協力させて貰って、そして元氣も貰って頑張りたいと思います。

私の近況報告

②

右原支部 齋藤康子



例年になく暖かい天気のうちには報恩講のお手伝い、お寺参りも済み、ホッと一息つく間もなく急に寒波到来。冬ごしらえも間にあわず炬燵に避難、テレビ三昧の日暮らしです。

自然災害、異常気象、人害等日本全国北に南に大きな被害がりましたが、町内では大害なくて喜んでいきます。

今回の雪では倒木が多く発生し、右原は孤立集落になりかけました。近年の冬は積雪は少なく、気温は低く、風は冷たく痛い冬に感じます。大雪は困り

ますが、雪のぬくもり、雪あかり、雪と共に暮らした頃がなつかしく恋しく思われます。そしてなぜか「ふるさと」を重ねています。

以前、生きていると楽しいことも色々あるが、しかし苦しいこともある。その苦しい時に心を癒し生きる力を与えてくれるのが「ふるさと」の景色、「ふるさとの人々」ではと話された事がありません。

何でもすぐ手に入るこの頃ですが親バカで、子や孫達に小包を作り「ふるさと」を送り出すこの頃です。

第22回JA石見銀山

家の光大会に参加

下市支部 今田文字子

12月13日13時よりあすてらす大ホールに於いてJA家の光大会があり、広山組合長の挨拶、来年は県下一JAになる。自己改革して必要とされる事業を進める。JA女性部の協力で家の光では昨年は促進賞を、今年は文化賞を目指している等。

森脇女性部長は、家の光記事活用を面

白く楽しく出来た。みどりを守る作文では、各小学校へ依頼に行き三名の入賞者があった。高山小学校の三年生岡田七海さんもその一人、島根女性組織協議会長の表彰があり、学校での楽しい田植えの様子が上手に書かれていて心強く思いました。

基調講演は「山田雅人の「かたり」の世界」俳優、タレント、山田雅人氏。渡る世間は鬼ばかりの橋田壽賀子ドラマ、料亭の厨房でかつらむきをするベムちゃん役だったと聞き、かつらむきは目をはなしても出来るとの事。橋田先生から大根が沢山送って来た等のお話。

本題の「かたり」は、俳優、タレントをして25年歩んで来て芸能界で「芸を磨く」とは何かを常に考えた。「かたり」とは一人芝居でもなく、漫談でもなく、落語でもない取材を重ね現地訪ね、たどりついた真実に迫る。その日の観客と一緒につくるのが「かたり」だと。長嶋茂雄氏・アンパンマンのやなせたかし氏・島倉千代子物語等、昨年11月8日亡くなる三日前に「からたちの小径」の歌声を取材されていて聞かせて

もらう。

笑うとガン細胞は消える、と言ったお話で終わりました。

記事活用体験発表では、柿丸寿枝さんの「ストーリーテリング」 私達大代の誇りあの長い「耳なし芳一」を見事に、雰囲気、間をとり、「かたり」に劣らない発表をされ、家の光の11月号親と子の創作童話では絵を見せながらの読み聞かせの様子を、大ホールいっばいの人達に伝わった素晴らしい体験発表だったと感心致しました。

後、5支部と職員さんの踊りのアトラクションを拝見し、外に出たら暗くなっていました。



楽しい田植え

高山小学校三年

岡田 七海

(柿田自治会)



今日、学校で田植えをしました。今年も、とじまさんと広山さんが来られて教えていただきました。わたしは、田植えやいねかりの田んぼの仕事が大好きなので、楽しく苗を植えていると、とじまさんが、

「おつ、じょうずだなあ、動きがとてもいいよ。」

と声をかけてくださいました。とてもうれしくて、家でおじいちゃんたちのお手伝いをしたおかげだなと思えました。

わたしの家には田んぼがあります。おじいちゃんは、タネから苗を育ててお米を作っています。わたしは、おじいちゃんやお父さんの手伝いをするのが大好きです。特に、田植えは、大の大好きです。田んぼの土はぬめぬめしていて、水はつめたくても、土の中は

じんわりとあたたかいです。きつと、苗もおふろに入っているようないい気持ちになっっているだろうとおもうと、苗を植えるのがとつても楽しくなります。苗を植えながら「おいしいお米になつてね」と声をかけます。そうすると、苗も、「うんうん」とうなずいてくれているような気がします。

お父さんやおじいちゃんは、仕事が終わってつかれていても、毎日のように、草かりをしたり、いねや水の様子を見たりして田んぼの仕事をしています。そんなお父さんたちを見ていると、田んぼを大切にしているんだなあということがわたしにも伝わってきます。だから、わたしもできるだけ田んぼの手伝いをするようにしています。みんなで作った米でごはんをたくと、とつてもあまくておいしくて、がんばって育てたかいがあつたなあと思います。そして、おいしいお水とせんがっぱいあつてよかつたなあと思います。これからも、わたしの家や学校の田んぼに植えた苗を一つ一つ大切に育て、みんなでおいしいおいしいお米を作りたいです。

俳句

あすなる句会

横手いちえ



雪の道人の足跡辿り行く
半分の冬至南瓜の夕餉かな

森 信子

冷えし身に鍋焼きうどん舌鼓
古民家を地域でささえ冬座敷

花田 時子

寒菊いっかのつま一花を手向け夫の墓
冬至の日生れし吾子も五十過ぎ

今田 文子

恙なく南瓜を食はぶる冬至かな
手造りのこんにやくも出来冬至待つ

柿丸 寿枝

過去にする日々の早さや十二月
ありあわせ鍋よと答え夕の膳

文化祭(十一月十六日)
26年度農産物品評会入賞者



特別賞

白菜	谷口	ミサ子
小豆	竹島	シズ子
柚子	渡	栄
里芋	柿丸	寿枝
じゃがいも	横手	藤代
キウイ	梨木	久子

☆1等賞

大根	笠岡	勝江
ブロッコリー	柿丸	寿枝
白菜	笠岡	勝江
小豆	谷口	ミサ子
蒟蒻玉	中垣	十四子

☆2等賞

柿	田辺	幸子
かぼちゃ	柿丸	寿枝
生姜	横手	藤代
うずら豆	横手	藤代
小豆	谷口	ミサ子

お知らせ

書初め展がまちセンにて開催中

一月十五日から一月末日までまちづくりセンターにて展示しております。皆さんの力作をご覧ください。

第六十七回大代婦人会

総会ご案内

日時三月一日(日) 九時～

会場 まちづくりセンター集会室

沢山の皆さんの参加をお待ちしております。

お礼

東京石見高山会 松野 広様から御芳志をいただきました。有難うございました。

